

このプロジェクトは、丹波の森公苑にて開催している「縄文の森塾」のアドバンスコースとして、高校生・大学生・社会人などを対象として、丹波の森を見守る次世代チャレンジャーの育成を目的としています。

森を健全に持続していくためには、森と動物と人間が共生するための知恵や技術を、多面的な研究成果から学び直すことが大切です。本講座では、昔ながらの調査手法に加えて、センサーカメラ、ICTを用いた捕獲方法など新しい調査技術も学ぶことができ、国際的な野生動物調査にも参加することができます。

～カメラトラップによる国際野生動物調査にも参加しよう！～

直接観察が難しい野生動物の調査には、センサーカメラを用いた調査（カメラトラップ）が行われます。今回は国際的な共同調査プロジェクト「Snapshot Global」と同一の手法で、研究者と参加者での共同調査を試みます。調査後のデータはプロジェクトで共有され、国内外の研究に利用される予定です

- ◆ 期間：令和6年6月～10月
- ◆ 場所：丹波の森公苑（丹波市柏原町柏原5600）
- ◆ 対象：高校生、大学生、社会人など
- ◆ 参加形態：通年参加を優先、個別参加も可能（先着20名程度）

講座の内容

○6月23日（日）10時～15時：植物の生態を学ぶ（担当：藤木大介）

- ・「森の成り立ちと植物の見分け方」、「検索図鑑を用いた樹木の学習」
- ・「シカの食害による植生の変化を理解する」、「丹波の森公苑内での影響の現状と対策」

○7月28日（日）10時～15時：食の恵みを体感する ※参加費2,000円

（担当：横山真弓・藤本裕昭・福井佑実子）

- ・「シカ問題を『食べる』から考える」、「ジビエ料理の体験と試食」
- ・「人と野生動物の関わりを考える」、「野生動物の捕獲と食資源化について」
- ・「畑から食卓までの循環～有機農業の視点でシカ問題を考える」

○8月24日（土）10時～16時：動物の生態を学ぶ①（担当：高木俊）

<国際調査プロジェクトへの参加>

- ・「野生動物の生息状況の調査方法」、「センサーカメラの設置」

○10月19日（土）10時～16時：動物の生態を学ぶ②（担当：高木俊）

<国際調査プロジェクトへの参加>

- ・「センサーカメラの回収」、「撮影されたデータの確認と集計」

○11月9日（土）10時～12時：生活環境への恵みを学ぶ（担当：上南木昭春）

- ・「森が有する現代的役割と保全・活用方法」